

令和6年6月定例会

予算決算委員会資料
(消防本部)

消防通信指令システム更新事業について

1 目的

平成28年度に整備した現在の指令システム・消防救急デジタル無線設備について、メインサーバーおよび周辺機器の耐用年数等を勘案し、運用開始から10年が経過する令和8年度までに更新工事を行う。

令和5年5月から実施設計業務を開始し、令和6年3月に設計書が完成したことから、事業実施のために必要な費用を補正予算として計上する。

2 機能向上について

(1) 操作性の向上

各機器の性能向上と、次の操作を誘導する機能により、迅速な指令送出につながる効果がある。

(2) 現場状況把握の効率化

通報者からの映像伝送の受信が可能となり、応急手当等の具体的指示ができるとともに、より効果的な災害現場の状況把握が可能となる。

(3) 通信範囲の拡大

無線機の出力向上により通信範囲が拡大される。

3 全体スケジュール

令和5年度から令和8年度までの4か年事業

- ・令和5年5月から令和6年9月 実施設計業務
- ・令和6年10月から令和8年3月 指令システム・無線設備更新工事
- ・令和8年4月 新指令システム・無線設備運用開始
- ・令和8年4月から9月 旧指令システム解体撤去

4 事業費

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| (1) 総事業費 | | 1,955,708千円 |
| (2) 令和6年度補正予算額 | | 625,794千円 |
| ・工事請負費 | 指令システム更新工事 | 288,945千円 |
| | 無線設備更新工事 | 332,294千円 |
| ・委託料 | 施工管理業務委託料 | 4,447千円 |
| ・旅費 | 機器の出来高検査 | 108千円 |

5 継続費設定

指令システムおよび無線設備の更新工事は、工期が令和6年10月から令和8年9月までの3か年となるため、工事請負費と施工管理業務委託料について継続費を設定する。

(単位：千円)

| 事業名 | 年度 | 年割額 | 特定財源 | 一般財源 |
|--------------------|-------|-----------|-----------|---------|
| 消防通信指令 システム更新事業 | 令和6年度 | 625,686 | 552,800 | 72,886 |
| | 令和7年度 | 1,208,306 | 1,048,400 | 159,906 |
| | 令和8年度 | 74,492 | 55,800 | 18,692 |
| | 合計 | 1,908,484 | 1,657,000 | 251,484 |